
平成20年度
白馬村事務事業評価
評価結果報告書



平成20年12月
白馬村事務事業評価委員会

事務事業評価結果報告書

平成20年12月15日

白馬村長 太田 紘 熙 様

白馬村事務事業評価委員会
委員長 鈴木 啓 助 印

白馬村事務事業評価制度実施要綱に基づき、白馬村の事務事業について外部評価を実施し、「平成20年度白馬村事務事業評価結果報告書」としてまとめましたので、報告致します。

目次

【白馬村の基本方針】

行政評価制度とは	3
1. 行政評価制度の基本	3
2. 行政評価の種類	3
行政評価制度導入の背景と目的	4
1. 行政評価制度導入の背景	4
2. 行政評価制度の必要性	4
3. 行政評価の目的	4
白馬村における行政評価の取り組み	5
1. 事務事業評価制度の導入	5
2. 事務事業評価制度の導入により期待される効果	5

【事務事業評価委員会結果】

平成20年度事務事業評価実施要領	6
事務事業評価の実施状況	8
1. 事務事業評価の流れ	8
2. 事務事業評価委員会の開催状況	8
3. 評価結果	9
今後の評価への提案	14
白馬村事務事業評価委員会委員名簿	16
白馬村事務事業評価制度実施要綱	17
事務事業評価調書	19

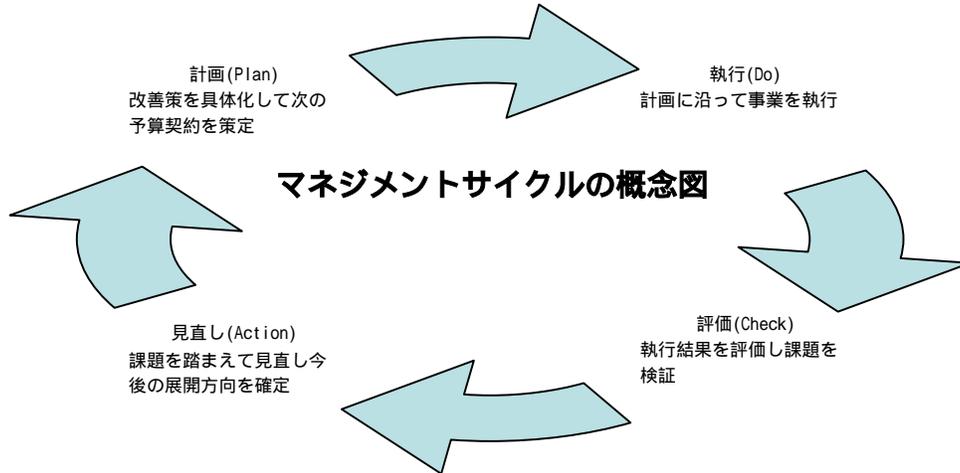
白馬村の基本方針

行政評価制度とは

1. 行政評価制度の基本

行政評価とは、自治体の政策・施策・事務事業の内容、進捗状況を客観的に見られる統一様式や数値で表現する手法です。

自治体の仕事を対象に、一定の基準や指標をもって数値化することにより、よりよい判断を行うための情報を得るとともに、フィードバックし、行政活動の継続的な改善・改革につなげ、村民サービスの向上を図っていかこうとするマネジメントサイクル（Plan Do Check Action）を行政評価制度と言います。

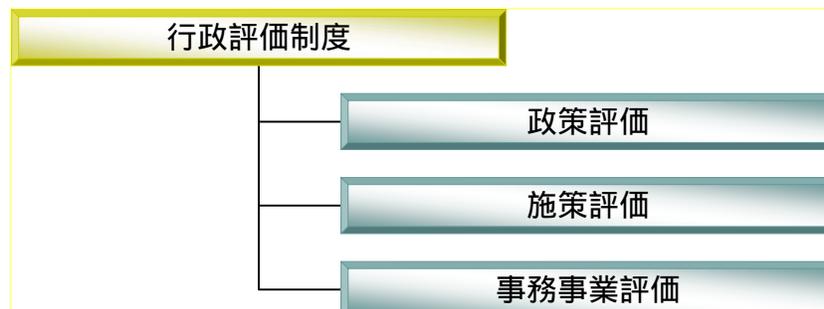


2. 行政評価の種類

- (1) 政策 大局的な見地から村が目指すべき方向や目的を示すものであり、総合計画の基本構想に謳われた方針や手段を言います。
- (2) 施策 政策という上位目的を達成するために実施する方策を言います。
- (3) 事務事業 施策の目的を達成するための具体的な手段であり、自治体が行う全ての事務事業がこれに相当します。

行政評価の導入にあたっては、このように政策・施策・事務事業について、目的と手法の関係に着目して、体系的な整理が行われていることが極めて重要となります。これらから行政評価とは、「政策評価」、「施策評価」、「事務事業評価」に分類することができます。

～行政評価制度の概念図～



行政評価制度導入の背景と目的

1．行政評価制度導入の背景

行政評価制度が求められる背景として、自治体を取り巻く環境と課題が関係しています。

(1) 地方分権の時代

国を中心としたシステムから、地域の特性に応じて自治体が施策を自主的・自立的に展開できる分権型自治システムへの転換が求められており、これまで以上に自治体の企画立案・政策形成能力を向上させることが課題となっています。

(2) 厳しい財政状況

自治体の財政状況は、長引く不況による景気の低迷と経済の硬直化に起因した、村税をはじめとする税収の減少、さらには地方交付税制度改革による減少などから著しく硬直し、新たな村民ニーズへの対応が極めて困難な状況となっており、財政基盤の強化と健全化が課題です。

(3) 村民との協働の推進

村民と行政との良好なパートナーシップにより、地域の課題解決に向けた「協働」への取り組みを推進しています。村政運営での情報公開による透明性の向上をはじめ、これまで以上に村民の理解と信頼が得られる良好なパートナーシップの形成が不可欠です。

これらにより、平成18年2月に策定した「白馬村行政改革大綱集中改革プラン」では、行政評価制度導入に取り組むことを明記しています。

2．行政評価制度の必要性

これまで行政内部では、各種施策や事務事業の成果について、指標に基づいた評価手法による点検や検証が十分とは言えませんでした。このため、各事業の成果を評価し、改善につなげ、効率的かつ効果的な成果重視にシフトするための仕組みを構築する必要があります。

これらを解決する手法として、外部評価による点検と診断に基づき業務を検証するなど、村民に分かりやすく、説明責任を果たすための行政評価制度が求められています。

3．行政評価の目的

(1) 施策・事業の成果についての村民への説明

情報の共有化・公開は、行政の透明性を高め村民と行政との信頼感を築く上で大変重要な役割です。行政評価の公表により、資源投入の合理性や成果についての説明責任を果たし、行政運営の透明性の向上を図るとともに、村民の行政への理解や参画意識を促進します。

(2) 職員の意識の転換

行政評価の内容を公表することにより、職員が村民の視点で政策形成を行い、新たな創意工夫により職員の政策形成能力の向上や意識改革を進める。

白馬村における行政評価の取り組み

1. 事務事業評価制度の導入

白馬村の行政評価への取り組みについては、住民サービスに直結し、業務単位毎の効果・効率を明確に判断できる「事務事業評価制度」を導入することとし、情報公開を推進するための新しい行政経営システムを構築します。

この事務事業評価制度については、平成19年度（平成18年度分）は、試行的に内部評価に取り組み、庁内においてこの制度について理解するとともに、その方法について検討を重ねました。

これらの結果を基本として、平成20年度（平成19年度分）では、第2段階として事業を選択して一部外部評価を行い、平成21年度（平成20年度分）の本格導入に向けてシステムの構築を目指します。

行政評価制度実施に向けた年度別計画

平成19年度	内部評価(試行)	
平成20年度	内部評価	外部評価(選択)
平成21年度	内部評価	外部評価

「制度への取組み」から「制度の導入」に移行します。

2. 事務事業評価制度の導入により期待される効果

(1) 施策等の進行管理における重点化

指標の推移から施策・事務事業の進捗が客観的に把握でき、事務事業の推進・見直しや、予算・人員等の行政資源の重点的、優先的な配分に活用することができます。

(2) 職員の政策能力の向上

職員が費用対効果を含めて、創意工夫を生み出すことができます。

(3) 分かりやすい行政と説明責任（アカウンタビリティ）の達成

事務事業の推移が把握でき、施策・事務事業の推進や見直しの判断の客観性を高めます。

こうした一連の過程の透明性を確保し、行政の姿を村民に分かりやすく伝えるとともに、説明責任を果たし、村民と行政との協働を推進します。

事務事業評価委員会結果

平成20年度事務事業評価実施要領

白馬村の評価対象となる事務事業は、約200にのぼる事から、全ての事務事業を事務事業評価委員会では評価を行うことは困難であることや、この評価に係るスケジュールも考慮し、原則として毎年度において評価方法に関する要領を定めることとされていることから、本年度の要領を次のとおり定めた。

1. 趣旨

この要領は、白馬村事務事業評価制度実施要綱（以下「要綱」という。）に基づき、平成20年度事務事業評価の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

2. 評価の実施体制

(1) 1次評価（内部評価）

1次評価の実施体制は、「所管部署評価」及び「事務事業庁内評価委員会評価」による。なお、所管部署評価とは、事務事業を所管する部署による評価をいい、事務事業庁内評価委員会評価とは、白馬村管理職職員による評価をいう。

(2) 2次評価（外部評価）

2次評価とは、「事務事業評価委員会」による外部評価をいう。

3. 評価の時点、評価の対象

(1) 評価の時点

平成19年度において実施した事務事業について、事後評価を行う。

(2) 評価の対象

要綱第2条第1項の規定に基づき全ての事務事業を対象とし、第2項に基づく事業については、あらかじめ事務事業評価対象外とする。

要綱第2条第2項

- (1) 国、県の法定受託事務及び受託事業に要する経費
- (2) 会計上の整理を行う経費
〔一般会計から特別会計への繰出金など〕
- (3) 緊急時など、事前に支出内容を決めることができない経費
〔災害復旧費、災害救助費など〕
- (4) 事務経費の執行管理を効率的に行うために要するもので、村の裁量が及ばない経費
〔一般的な管理費、広域負担金、債務負担、公債費など。補助金は除く。〕

(3) 評価対象事業の選定

事務事業評価委員会は、庶務から提出された1次評価による事務事業評価対象事業について、次の事項に基づき選定を行うものとする。

事務事業庁内評価委員会委員の多くが「縮小」など低く評価した事務事業。

事務事業庁内評価委員会委員の評価が分かれた事務事業。

事務事業庁内評価委員会委員の評価が「充実」と評価した事務事業。

予算額の大きい事務事業。

特定の所管課に偏らず、バランスを図り選定した事業。

4. 評価調書

評価調書は、次の事項について記載されている調書とする。

- (1) 事務事業の概要
- (2) 事務事業に要する経費
- (3) 成果の検証
- (4) 事務事業の評価
- (5) 今後の方向性

5. 評価の視点

(1) 事務事業の評価

事務事業の評価は、次により個別評価を行う。

項目	個別評価の内容	
1	必要性	村民が要望している事務事業かどうか。
2	必要性	村民にとって必要な事務事業かどうか。
3	妥当性	行政が行うべき事務事業かどうか。
4	有効性	期待された効果が上がっているかどうか。
5	優先性	他と比して緊急性・優先性があるかどうか。
6	政治性	政治性に依存しているかどうか。
7	圧迫性	今後において財政を圧迫することとなるかどうか。
8	費用削減の方法	費用削減の方策があるかどうか。

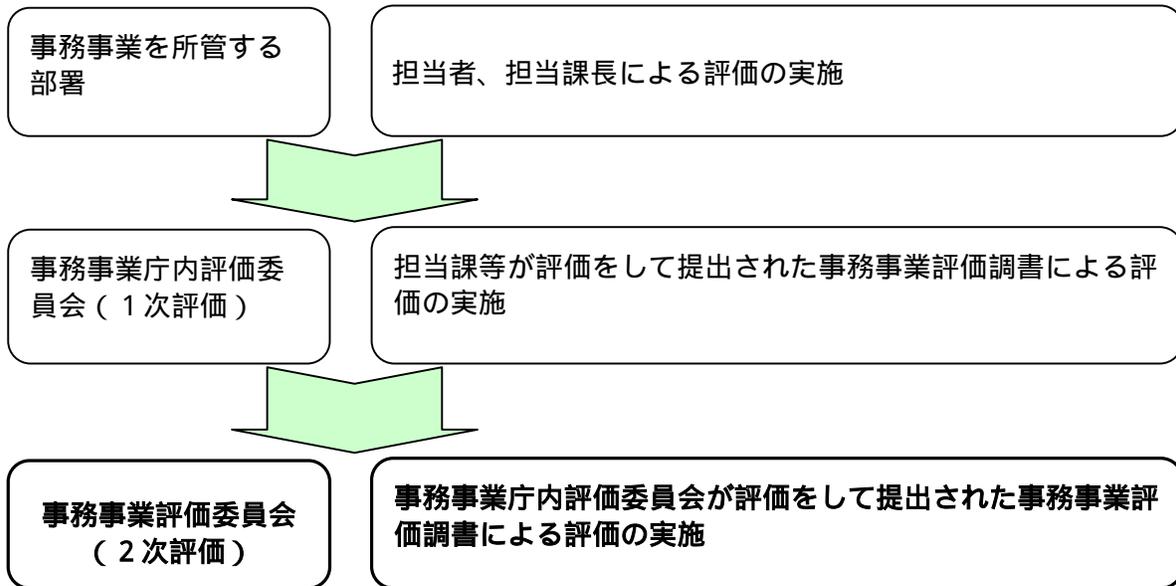
個別評価結果に基づき「総合評価」を行う。

(2) 今後の方向性

事務事業評価委員会では今後の方向性を、「充実」「継続」「縮小」「統合」「基本的見直し」による事前評価を行い、委員による討議のうえ今後の方向性の最終方針を決定する。

事務事業評価の実施状況

1. 事務事業評価の流れ



2. 事務事業評価委員会の開催状況

会議	日時	会議の内容
第1回	7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 行政評価制度導入の概要について ➤ 平成20年度事務事業評価について ➤ 今後のスケジュールについて
第2回	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務事業評価の対象事業の選定について ➤ 平成20年度事務事業評価実施要領について ➤ 事務事業評価の方法について ➤ 今後のスケジュールについて
第3回	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務事業評価結果について ➤ 各課等ヒヤリングについて ➤ 事務事業評価について ➤ 今後のスケジュールについて
第4回	11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務事業評価結果について ➤ 事務事業評価方法について
第5回	12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務事業評価結果報告書について ➤ まとめ

3. 評価結果

(1) 事務事業評価選定数

平成20年度事務事業評価選定事業は、実施要領に基づき1次評価（内部評価）から自動的に2次評価対象事業となった14事業に加え、事務事業評価委員会で選定した29事業による、計43事業について評価を行った。

評価対象数については、実施要領において「特定の課等に偏らないこと」としているが、白馬村の地域特性から鑑みると、観光振興を所管する観光農政課の評価事業が多くなったことについてはやむを得ないと委員会で判断した。

事務事業評価に関する課等の内訳は下表のとおりである。

実施機関別事務事業数 【順不同】

課等の名称	対象数
総務課	3
環境課	2
税務課	2
住民福祉課	7
観光農政課	20
建設水道課	1
教育課	3
スポーツ課	5
計	43

(2) ヒヤリングの実施状況

事務事業評価選定事業のうち、評価の判断基準として事業内容に関し委員がヒヤリングを必要とした下表の22事務事業について実施した。

ヒヤリング実施事務事業一覧

No	款	事務事業名	主管課等
7	総務費	交通災害共済保険事業	総務課
21	総務費	公園管理事業	
30	総務費	債権回収事業	税務課
41	総務費	スノーハープ維持管理事業	スポーツ課
42	総務費	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	
44	総務費	スキー大会推進事業	
46	総務費	白馬村スキー選手育成事業	
60	民生費	在宅介護支援センター運営委託事業	住民福祉課
62	民生費	福祉タクシー事業	
126	農林業費	県営中山間総合整備事業	観光農政課
158	観光商工費	国民保養センター岳の湯・スポーツアリーナ事業	

163	観光商工費	山岳観光施設維持補修事業	観光農政課
164	観光商工費	白馬尻荘事業	
165	観光商工費	白馬岳頂上宿舎事業	
166	観光商工費	白馬頂上テント場事業	
167	観光商工費	天狗山荘事業	
168-1	観光商工費	八方池山荘事業	
168-2	観光商工費	猿倉荘事業	
181	観光商工費	2 1 観光戦略事業	
183	観光商工費	海外観光客誘致事業	
184	観光商工費	海外観光客案内事業	
187	観光商工費	味噌漬物加工事業	

(3) 評価結果の概要

事務事業評価委員会評価による今後の方向性については、委員による討議のうえ次のとおり最終方針を決定した。事務事業評価調書（個別調書）については、別頁（P19～）となっているのでそちらを参照されたい。

今後の方向性結果

最終方針	件数	割合(%)
充 実(A)	1	2.3
継 続(B)	32	74.4
縮 小(C)	3	7.0
統 合(D)	0	0.0
基本的見直し(E)	7	16.3
計	43	100

(4) 今後の方向性の項目別事務事業

最終方針	事務事業名
充 実(A)	債権回収事業
継 続(B)	公園管理事業 廃屋対策事業 賦課徴収事業 スノーハープ維持管理事業 白馬ジャンプ競技場維持管理事業 スキー大会推進事業 白馬村スキー選手育成事業 灯油購入費緊急助成事業 雪害救助員派遣事業 相談支援事業 在宅介護支援センター運営委託事業

	森のエネルギー推進事業 国際交流事業 白馬小径事業 山岳観光施設維持補修事業 白馬岳頂上宿舎事業 白馬頂上テント場事業 天狗山荘事業 八方池山荘事業 猿倉荘事業 八方池第2ケルトトイレ事業 白馬岳避難小屋事業 21観光戦略事業 海外観光客誘致事業 海外観光客案内事業 道の駅白馬振興事業 紫米事業 除雪事業 景観事業 ウイング21自主公演事業 子ども育成会事業 ウイング21維持管理事業
縮小(C)	消費者教育事業 スポーツ振興事業 県営中山間総合整備事業
統合(D)	なし
基本的見直し(E)	交通災害共済保険事業 移送サービス事業 福祉タクシー事業 南部保育園運営事業 国民保養センター岳の湯・スポーツアリーナ事業 白馬尻荘事業 味噌漬物加工事業

(5) 事務事業別今後の方向性

No	事務事業名	最終方針	説明
6	消費者教育事業	縮小	手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。婦人会自体の縮小、及び会が存在しない地区があるなど協働事業とは言いがたい現状を改善すること。地域づくり事業等への補助金統合等も検討すること。
7	交通災害共済保険事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。各区の推進員制度を採るならば、行政区への加入も合わせて推進すべきであり、併せて加入率を向上させること。
21	公園管理事業	継続	事業内容について精査すること。今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。整備は当該区等のボランティアを募ることなども検討されたい。
23	廃屋対策事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。
28	賦課徴収事業	継続	行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。徴収するだけでなく村の振興への姿を示すこと。
30	債権回収事業	充実	行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。全職員による債権回収の実施と滞納者氏名公表についても検討すること。

事務事業評価委員会結果

41	スノーハープ維持管理事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。今後における費用対効果について確認すること。メモリアルパークとして最低限の維持管理とするが、収入源確保として利用制限がかからない方法を検討すること。
42	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。メモリアルパークとして最低限の維持管理は必要であるが、施設の老朽化、規格化の対応をどのようにしていくか検討すること。収入源確保としてスポーツの他、コンサート等を企画されたい。
43	スポーツ振興事業	縮小	チラシ等告知の内容は大会だけでなく、実行委員会と調整して観光に繋がるよう、手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。また、村内へは協力の要請、村外へは参加の要請とされたい。
44	スキー大会推進事業	継続	現場の協力者としての村民ボランティアなど、今後の計画を含め村負担の縮小について検討すること。競技スキーからの脱却やスノーパークを目指すことも検討されたい。
46	白馬村スキー選手育成事業	継続	事業内容について精査すること。選手だけでなくコーチングスタッフの育成にも力を入れるべき。選手自身はSAJやSANの看板で世界を目指しており、白馬村SCに所属している感覚が希薄である。会費徴収については地区の不均衡を解消すること。
52-2	灯油購入費緊急助成事業	継続	今後の事業計画の見通しを精査したうえでの実施を検討すること。
53	雪害救助員派遣事業	継続	現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。
57	移送サービス事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。今後における費用対効果について確認すること。
58	相談支援事業	継続	現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。相談数が少ないため、随時電話等で受付、必要に応じて専門家を紹介する方法も検討すること。
60	在宅介護支援センター運営委託事業	継続	行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。手法や手段について見直しを検討すること。
62	福祉タクシー事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。デマンド交通事業へ移行すること。
86	南部保育園運営事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。
126	県営中山間総合整備事業	縮小	現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。なお、耕作放棄は時代の必然でもあり、多角的な検討が必要である。
138	森のエネルギー推進事業	継続	今後における費用対効果について確認すること。地球温暖化防止に寄与するのに高額なストーブやペレットを購入する矛盾への解消に努められたい。また、生活防衛の一環であることから、福祉面でも検討されたい。
153	国際交流事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。冬季オリンピックを開催した村とは思えない事業規模であることから、中国のみならず、世界各国と交流を持つべきである。また、オーストリア・レヒ村は友好都市となっているが、地域との産業交流も行っており、交流目的を明確にして実施されたい。
158	国民保養センター岳の湯・スポーツアリーナ事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。周辺に多数温泉施設がありサービスを充実させるなどの工夫が必要であるが、一方で民間の外湯も充実しており競合すべきでないと考え。
159	白馬小径事業	継続	現状程度で事業を継続することとするが手法や手段について見直しを検討すること。見所をしぼったコースの検討を実施し、管理を徹底すること。千国街道や松川村の山麓トレッキングの例も参照されたい。

事務事業評価委員会結果

163	山岳観光施設維持補修事業	継続	事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。案内誘導を徹底し、登山道等の基本インフラの整備は長期的な展望に立つて行うこと。
164	白馬尻荘事業	基本的見直し	山岳観光における宿泊施設等の経営は、益々厳しさが増すものと思われるので、民間委託をふくめ基本的見直しを図ること。段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。
165	白馬岳頂上宿舎事業	継続	民間施設と競合していることから段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。今後における費用対効果について確認すること。
166	白馬頂上テント場事業	継続	受益者負担の検討をすること。今後における費用対効果について確認すること。
167	天狗山荘事業	継続	今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。
168-1	八方池山荘事業	継続	今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。
168-2	猿倉荘事業	継続	今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。白馬の登山口であり案内誘導を充実されたい。
177	八方池第2ケルトイレ事業	継続	受益者負担の検討をすること。
179	白馬岳避難小屋事業	継続	手法や手段について見直しを検討することとし、現状程度で事業を継続すること。
181	21観光戦略事業	継続	今後における費用対効果の確認や、本来の目的を再確認すること。
183	海外観光客誘致事業	継続	事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。今後における費用対効果について確認すること。受け入れる側の国際感覚を養う必要があることから、早急に手を入れるべきと考える。
184	海外観光客案内事業	継続	今後における費用対効果について確認すること。事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。マップや看板だけ作ればよいと言うものではなく、受け入れる側の国際感覚を早急に磨き、村全体で受け入れる姿勢が必要と考える。
186	道の駅白馬振興事業	継続	現状程度で事業を継続すること。近隣他村の「道の駅」と比較して特色が少ないことから、見直しされたい。
187	味噌漬物加工事業	基本的見直し	手法や手段について見直しを検討すること。生産団体の今後の事業展開及び成長性を検討されたい。
188	紫米事業	継続	現状程度で事業を継続すること。
199	除雪事業	継続	行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。
207	景観事業	継続	行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。白馬村独自の景観形成に努められたい。
232	ウイング21自主公演事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。白馬ウイング21ホール友の会と別にフォーラムを誘致するなど、白馬に合った企画や企画力を向上されたい。
234	子ども育成会事業	継続	事業内容について精査すること。手法や手段について見直しを検討すること。
246	ウイング21維持管理事業	継続	手法や手段について見直しを検討すること。村外へのエコーホールの周知・販売方法、イベントの周知方法を見直すこと。ホール使用料金の適正化（他市立ホールを参照・料金体系の細分化）やエントランス内外の設置物の整然化、絵画などの配置換えやアリーナとの分離化を検討されたい。併せて村内文化活動団体への「文化振興団体」登録や、登録による減免制度等の周知も徹底されたい。

今後の評価への提案

白馬村の事務事業評価制度への取り組みについては、平成19年度から試行的に内部評価として実施し、本年度において白馬村事務事業評価委員会による「外部評価」に初めて取り組んだこともあり、「事務事業評価」という手法について事務局と共に手探りで取り組んできた。

平成21年度から本格導入となるが、本委員会として今年度において取り組んだ結果から、評価調書及び評価方法について、次の点について改善することを提案するので検討されたい。

(1) 事務事業評価調書及び内容について

ア) 2. 事務事業に要する経費欄

当初と決算の間に「補正」を入れ、当初予算からの予算経過が分かるようにされたい。

特定財源の「その他」に、主な収入項目を記入されたい。

イ) 3. 成果の検証欄

当初予算（補正予算）の事業計画に対して決算の実施内容が対比できるようにされたい。

期待される効果と実施したことによる効果を記載されたい。

補足説明として、特定財源と支出内容に関する記載を記入されたい。

(2) 事務事業評価数について

ア) 本年度の評価数が一つの目安と考えるが、評価総数に関しては本委員会の統一見解は出せなかった。

イ) 評価数については、1次評価から自動的に2次評価される事務事業数によるが、毎年度において、1次評価が継続して評価が分かれる等、一度2次評価に諮られた事務事業は対象から外すなどの一考が必要である。

(3) 評価スケジュールについて

ア) 本年度が事務事業評価の初年であり、来年度は評価制度についての説明が省かれることから、委員会の回数とスケジュールについては、本年度を目安として同程度で開催されたい。

(4) その他

ア) 評価項目の「用語の意味」については、統一的な見解が図れるようにされたい。

イ) ヒヤリングは、担当者が「どういう目的」で事業展開しているかについて、出来る限り評価対象とした事務事業全てについて実施し確認したい。

ウ) 事務事業の新規、移管、合併などで事務事業名が変わる場合も想定されるので、その場合においては前年度の評価結果が分かるようにされたい。

事務事業評価委員会結果

最後に、この事務事業評価制度の実施により、白馬村の行政運営のPDCAサイクルとして効果的・効率的に組み込んでいけるよう今後もさらに改善を加え、行政運営の一層の推進と村民への情報公開・説明責任という観点から、重要なツールとして役立てていくことを期待します。

白馬村事務事業評価委員会委員名簿

NO	区分	所属	団体名・職名	氏名	備考
1	1号	信州大学 山岳科学総合研究所	所長	鈴木 啓助	指名
2	2号	白馬商工会	経営指導員	松本 喜美人	団体推薦
3		戸谷税務会計事務所	税理士	戸谷 稔	指名
4		白馬村金融団	八十二銀行(株)白馬支店 白馬支店長	松沢 久人	団体推薦
5		白馬村金融団	(株)長野銀行白馬支店 支店長	中村 明	団体推薦
6		区長会	副会長	佐藤 岳志	互選
7		白馬東急ホテル	総支配人	富田 幸延	指名
8		白馬村民生児童 委員協議会		丸山 健二	団体推薦
9		3号	公募者不在による 選任委員		塩島 和子
10	公募者不在による 選任委員			内川 健夫	元(株)白馬フォーテ ィーセブン常務取 締役

白馬村事務事業評価制度実施要綱

〔平成19年12月27日〕
白馬村告示 37号

(目的)

第1条 この要綱は、事務事業評価（以下「評価」という。）に関する基本的事項を定めることにより、より効率的で効果のある施策の選定及び実施した施策の客観的な検証を行い、もって次期施策への適切な反映と予算の有効活用に資するとともに、評価に対する情報を村民に公表及び説明する責務を明らかにすることを目的とする。

(評価の対象)

第2条 評価の対象は、村が行う全ての事務事業とする。

2 次の各号に掲げる事務事業は、目標管理を行う意義がない、若しくはその意義が極めて薄いことから、評価の対象外とする。

- (1) 国、県の法定受託事務及び受託事業に要する経費
- (2) 会計上の整理を行う経費
- (3) 緊急時など、事前に支出内容を決めることができない経費
- (4) 事務経費の執行管理を効率的に行うために要するもので、村の裁量が及ばない経費

(評価の方法)

第3条 評価の方法は、事務事業を所管する部署(以下「所管部署」という。)が、別に定める事務事業評価調書（以下「評価調書」という。）により事務事業の評価を行うものとする。

2 評価調書の作成にあたっては、別に定める要領に基づき、可能な限り指標を用いて客観的かつ分かりやすい表現に努めるものとする。

(評価調書の提出)

第4条 所管部署は、第3条の規定に基づく評価を毎年6月に実施し、作成した評価調書を同月末までに総務課長に提出するものとする。

(事務事業庁内評価委員会)

第5条 所管部署で行われた自己評価に基づき、行政内部による再評価を行うため、事務事業庁内評価委員会(以下「庁内委員会」という。)を置き、内部評価を掌理する。

2 庁内委員会とは、白馬村管理職職員で構成する。

(事務事業評価委員会の設置)

第6条 庁内委員会で行われた評価調書に基づき、客観的な評価を実施する白馬村事務事業評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の組織)

第7条 委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから村長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 村長が指名する者
 - (3) 公募による者
- (委員の任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第9条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員の互選によって定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会の会議)

第10条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(関係職員の出席)

第11条 委員長は、委員会に関係職員の出席を求め、説明を聞くことができる。

(評価結果の反映及び公表)

第12条 村長は、評価結果を、総合計画の推進管理、予算編成、事務事業の見直し及び施策等に反映させるように努めるものとする。

- 2 村長は、評価の結果を公表するものとする。

(庶務)

第13条 庁内委員会及び委員会に係る庶務は、総務課において行うものとする。

(その他)

第14条 この告示に定めるもののほか、制度の実施に関し必要な事項は、村長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

平成19年度 事務事業評価調書

No6

1. 事務事業の概要

事業名 消費者教育事業				担当課等名	総務課
				予算費目	2 - 1 - 1 -
担当係名 消費者行政係				記入者氏名	飯森可奈子
				事務事業コード	12101
第4次総合計画 位置付項目		分野	行政・住民参画	市町村計画の 有無・年度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 (年度)
		基本構想	住民と行政が協働し開かれたむらをつくる		
		プロジェクトの名称	住民参画プロジェクト		
根拠法令等				始期・終期	年度～ 年度
事業の目的 【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 婦人会が行う消費者教育事業に対する補助					
事業の計画 【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 上質古紙回収・道路清掃・消費生活大学への参加等に対する補助					

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

総事業費 A	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
国県支出金					/	課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	300	300	300	300		主査	0.2 人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人	/	主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費		300	千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	上質古紙回収(年2回5月・11月) 道路清掃(4月～11月毎月1回) 消費者大学への参加(3名)	上質古紙回収 5月9,230kg 11月6,400kg
成果 (目標に対する 成果)	古紙回収事業を継続して行っているため、リサイクル、ゴミの減量化など意識が高まっている。	婦人会による協力が大きいですが、未組織地区の対応不足。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	B	B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	B
村が行うべきことか 【妥当性】	B	B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	C
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	A	A
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>婦人団体(婦人会)が主体で行う消費者行政活動等に対する活動補助金である。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。村民にとって有効な事業であるが、婦人会未設置区への対応や婦人会の組織率も低く形骸化しているのではないか。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 婦人会を通じて、消費者教育以外の様々な分野での協力をお願いし、活動していただいているため、継続の必要がある。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。婦人会自体の縮小、及び会が存在しない地区があるなど協働事業とは言いがたい現状を改善すること。地域づくり事業等への補助金統合等も検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>C</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要		担当課等名	総務課
事業名	交通災害共済保険事業	予算費目	2 - 1 - 1 -
		事務事業コード	12102
担当係名	総務係	記入者氏名	下川浩毅
第4次総合計画位置付項目	分野	基盤整備・生活環境	市町村計画の有無・年度
	基本構想	快適で安らぎのある生活環境を築く	
	プロジェクトの名称	安心快適生活プロジェクト	
根拠法令等	地方自治法及び中信地域町村交通災害共済条例		始期・終期
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 住民が交通事故による災害を受けた者を救済し、住民の生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的とする		
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 加入を希望する住民に地区の推進員が徴収に伺い、役場で取りまとめ、事務組合に納める。また、加入期間中に交通事故により災害を受けた方の手続きの窓口となり、事務組合に書類等の提出を行う。		

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	240	189	220	179	81.4	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他	240	189	220	179		主幹	人
一般財源				0		主査	0.3 人
従事職員数 B	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	加入者数及び徴収額 4592人(2,296,000円) 見舞金支給状況 10件(1,989,000円) 役員報酬 178,260円	推進員にお願いし各戸を回ってもらっているが、区に加入していない戸や留守の戸が多く、郵送が多くなっているため、一般会計の郵送料が掛かるようになっている。
成果(目標に対する成果)	人口の7割の加入目標に対し、49.4%の加入率である。	今日、任意保険の充実に伴い、誰もが任意保険に加入している今日では、少ない金額ではあるがもう一つ保険に加入してもらうには難しい状況である。ただし、約5割の住民が加入している状況を踏まえるとこの事業は必要である。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか【必要性】	A		B	B
村民にとって必要なことか【必要性】	A		C	B
村が行うべきことか【妥当性】	A		B	B
期待される効果は上がっているか【有効性】	A		B	C
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A		C	C
政治性に依存しているか【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A		A	A
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	5		5	5

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" data-bbox="422 212 853 392"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">基本的見直し</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>加入率の拡充を図る。</p>
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村がおこなうべき事業でない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村がおこなうべき事業でない。任意保険の加入で対応可能と考える。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 構成町村内で2番目に低い加入率となっているが、約5割の住民が加入していることを踏まえ、この制度は継続が望ましい。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 脱会を含めて事業自体の見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。各区の推進員制度を採るならば、行政区への加入も合わせて推進すべきであり、併せて加入率を向上させること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>E</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	総務課
事業名	公園管理事業			予算費目	2 - 1 - 6 -
				事務事業コード	012166
担当係名	企画情報係	記入者氏名	吉田久夫	電話内線	124
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 「いこいの杜」の土地賃貸借契約に関する事及び「ふれあいの杜」の管理に関する事。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 「いこいの杜」の土地賃貸借契約に関する事及び「ふれあいの杜」の管理に関する事。				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	9,002	9,000	9,002	9,000	100.0	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.1 人
その他						主幹	人
一般財源	9,002	9,000	9,002	9,000		主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	「いこいの杜」の土地賃貸借契約に基づく支払い。	
成果 (目標に対する成果)	「いこいの杜」の土地賃貸借契約に基づく支払い。	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	B
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性もあり、期待される効果も上がっている。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性もあり、期待される効果も上がっている。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 平地観光の拠点としての利活用や整備することが地元から求められている。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後の計画を含め、指定管理者に移行するなど、村負担の縮小について検討することとし、できる限り事務の改善に努めること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 事業内容について精査すること。今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。整備は当該区等のボランティアを募ることなども検討されたい。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	環境課
事業名	廃屋対策事業			予算費目	2 - 1 - 6 -
				事務事業コード	012167
担当係名	環境係	記入者氏名	山岸 茂幸	電話内線	148
第4次総合計画位置付項目	分野	環境保全		市町村計画の有無・年度	有・ (無) (年度)
	基本構想	自然と共生し誰もが安らげる環境をつくる			
根拠法令等	プロジェクトの名称	むらごと自然公園プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	[対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)]				
	景観を阻害する廃屋の撤去に対する補助金を交付する。				
事業の計画	[この事業で当初計画したことを具体的に記入]				
	補助金の交付申請者は行政区の区長とし、関係者の承諾をもって事業を認める。				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
総事業費 A	0	678	700	860	122.9		
国県支出金				430		課長補佐	人
地方債						係長	0.1 人
その他						主幹	人
一般財源	0	678	700	430		主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	廃屋撤去 2地区 3件に交付	
成果(目標に対する成果)	廃屋撤去 2地区 3件に交付	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか [必要性]	A	A	A
村民にとって必要なことか [必要性]	A	A	A
村が行うべきことか [妥当性]	A	A	A
期待される効果は上がっているか [有効性]	B	B	B
緊急性・優先性はあるか [優先性]	A	A	A
政治性に依存しているか [政治性]	B	B	B
今後の財政圧迫性 [圧迫性] A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、期待される効果が上がっていない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利(抵当権、動産所有権)面がクリアできるかが課題である。 ・行政区への補助であることから、行政区自体の財政力も必要となり、廃屋があり所有者の同意があっても実施できないケースが想定される。
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。また、事業内容について精査すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	税務課
事業名	賦課徴収事業			予算費目	2 - 2 - 2 -
				事務事業コード	12221
担当係名	課税・徴収係	記入者氏名	西澤良典	電話内線	154
第4次総合計画位置付項目	分野	行政・住民参画		市町村計画の有無・年度	有・ 無 (18年度)
	基本構想	住民と行政が協働し開かれたむらをつくる			
根拠法令等	プロジェクトの名称	無駄を省いた健全行財政プロジェクト		始期・終期	19年度～19年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 適正なる課税及び徴収を行う。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 納税通知書・再振通知書・督促状・催告書等の発送。収納業務、更正業務、土地・建物評価、滞納処分などを行う。				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	0	0	13,435	13,054	97.2		課長補佐	1.0 人	
国県支出金							係長	2.0 人	
地方債							主幹	1.0 人	
その他							主査	3.0 人	
一般財源			13,435	13,054			主任	1.0 人	
従事職員数 B	人	人	8.0 人	8.0 人			主事	1.0 人	
准職員、臨時職員	人	人	1.0 人	1.0 人					
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	村民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、国保税の課税及び徴収。	
成果 (目標に対する成果)	課税額2,521,795千円、徴収額1,536,105千円、不納折損額48,518千円	課税額31,340千円1.3%増、徴収額79,599千円2.4%増

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	5	5	5

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" data-bbox="427 219 845 398"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。危機的状況であることの職員意識が感じられない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>[説明]</p> <p>適正なる課税と徴収の強化。早急なる徴収部門の独立と増員。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明]</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明]</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。徴収するだけでなく村の振興への姿を示すこと。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	税務課	
事業名	債権回収事業			予算費目	2 - 2 - 2 -	
				事務事業コード	12223	
担当係名	徴収係	記入者氏名	西澤良典	電話内線	153	
第4次総合計画位置付項目	分野	行政・住民参画			市町村計画の有無・年度	有・ <input checked="" type="radio"/> (18年度)
	基本構想	住民と行政が協働し開かれたむらをつくる				
根拠法令等	プロジェクトの名称			無駄を省いた健全行財政プロジェクト	始期・終期	19年度～19年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 差押物件の公売による換価。					
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 差押2物件の公売により換価。					

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
			当初 F	決算 G		職名	人数
総事業費 A	0	0	1,700	221	13.0		
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	1.0 人
その他			1,700			主幹	人
一般財源				221		主査	人
従事職員数 B	人	人	1.0 人	1.0 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	差押2物件の公売を行う。	
成果 (目標に対する成果)	1物件は落札者があり換価できたが、1物件は落札者なし。	建物の公売は難しい。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A		A	A
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化				

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" data-bbox="427 219 845 398"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>滞納整理の有効な手段は差押であり、引き続き多くの公売を行いたい。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。景気の影響が大であるが、滞納額の増加は問題である。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 9億円超える滞納金の早期激減させるため、引き続き公売を実施したい。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。また、事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。全職員による債権回収の実施と滞納者氏名公表についても検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>A</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	スノーハープ維持管理事業			予算費目	2 - 7 - 2 - 12
				事務事業コード	721
担当係名	スポーツ事業係長	記入者氏名	郷津成海	電話内線	431
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (14年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築く			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	14年度～23年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】				
	スノーハープの適正な維持管理を行い村民等に有効に利用してもらう				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】				
	オリンピック施設であるクロスカントリー競技場を適正に維持管理し、スキー大会等を開催するほかジュニアの育成を図ったり観光施設としても利用する				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	20,440	18,600	18,868	16,022	84.9	職名	人数
国県支出金	0	665	0	1,120	/	課長補佐	人
地方債						係長	0.2 人
その他	300	651	720	2,129		主幹	人
一般財源	20,140	17,284	18,148	12,773		主査	人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	1.0 人	1.0 人	1.0 人	1.0 人	主事	人	
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	有償・無償あわせて約22,000人の利用があった。	要因は天候に左右された面が大きかった。
成果 (目標に対する成果)	管理費は前年度比較で約2,500千円減額となった。	管理は夏冬共に天候に恵まれたこともあり、前年より使用料増となった。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	B		B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	C		B	C
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>建設から10年以上が経過し、木橋等を中心に老朽化が進み、使用に耐えない施設も多々出てきた。これらの老朽施設を補修が出来るものは補修し不可能なものは今後どうするかを検討しなくてはならない。根本的な対策が必要だろう。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>平成20年度以降の方向性については、指定管理者移行を含めて見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。今後における費用対効果について確認すること。メモリアルパークとして最低限の維持管理とするが、収入源確保として利用制限がかからない方法を検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	白馬ジャンプ競技場維持管理事業			予算費目	2 - 7 - 2 - 12
				事務事業コード	721
担当係名	スポーツ事業係	記入者氏名	郷津成海	電話内線	431
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (14年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築く			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	14年度～23年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】				
	ジャンプ競技場を維持管理し、観光客の増加を図る				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】				
	ジャンプ競技場を適正に維持管理することにより観光客の増加を図る				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	人
その他								主幹	人
一般財源	86,952	90,400	91,380	90,637				主査	0.4 人
従事職員数 B	0.4 人	0.4 人	0.4 人	0.4 人				主任	人
准職員、臨時職員	1.0 人	1.0 人	1.0 人	1.0 人				主事	人
全体事業費	90,637 千円		全体計画のない事業については記入不要。						

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	ジャンプ競技場を適正に維持管理し白馬村の観光施設として利用する。	長野県の繰出し金によって、比較的安価に維持管理できているが、施設が老朽化してきていることもあり、厳しい状況になってくるだろう。
成果 (目標に対する成果)	入場者数は減ってきているが、白馬村の中心的観光施設となっている。	減ってきているとはいえ、かなりの数の見物人が訪れている。観光客をあきさせないよう施設内に何らかの工夫があればよいと思う。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	B		B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B		B	C
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		C	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>ジャンプ競技場は構造物としては白馬村1番の観光施設と考える。今後より一層観光客が訪れるよう何らかのアイデアが必要と考える。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。また、今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。メモリアルパークとして最低限の維持管理は必要であるが、施設の老朽化、規格化の対応をどのようにしていくか検討すること。収入源確保としてスポーツの他、コンサート等を企画されたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	スポーツ振興事業			予算費目	2 - 7 - 2 - 12
				事務事業コード	721
担当係名	スポーツ事業係	記入者氏名	郷津成海	電話内線	431
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	○・無 (14年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	14年度～23年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 スポーツ大会等を支援し白馬村のスポーツを振興する				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 実行委員会に補助しスポーツ大会を実施すると共に人的にも支援する				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	6,152	5,148	6,360	6,355	99.9	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.1 人
その他						主幹	人
一般財源	6,152	5,148	6,360	6,355		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費	6,355 千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	大会に補助金を支出しクロスカントリー大会等のスポーツ大会を実施する	偏りがちなスキー大会以外のスポーツ大会を開催することによりスポーツ振興と観光業の活性化につなげる
成果(目標に対する成果)	スキー大会以外の大会は数少ないが、いくつかの大会を盛況のうちに開催することが出来た	スキー以外の大会開催により夏場観光の今後の参考になるだろうと考える

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか【必要性】	A		A	B
村民にとって必要なことか【必要性】	B		B	B
村が行うべきことか【妥当性】	C		C	C
期待される効果は上がっているか【有効性】	B		B	B
緊急性・優先性はあるか【優先性】	B		B	C
政治性に依存しているか【政治性】	B		B	C
今後の財政圧迫性【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	5		5	5

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>一部観光につながることも事実だが、区を通じて役員ボランティア参加は無理があるのではないだろうか</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、期待される効果が上がっていない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>C</p>	<p>【説明】</p> <p>スポーツ大会は選手の育成になり、客も宿泊するので実施する価値はある。しかしながら実施に当たっては村の負担を減らすよう受益者負担を考え観光協会等が主体となり村は支援する方向で考えていべきと思う。</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】</p> <p>継続して実施すること。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】</p> <p>チラシ等告知の内容は大会だけでなく、実行委員会と調整して観光に繋がるよう、手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。また、村内へは協力の要請、村外へは参加の要請とされたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1220 1523 1428 1713"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1428 1523 1492 1713"> <p>C</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>C</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>C</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	スキー大会推進事業			予算費目	2 - 7 - 2 - 12
				事務事業コード	721
担当係名	スポーツ事業係	記入者氏名	郷津成海	電話内線	431
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (14年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築く			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	14年度～23年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】				
	スキー大会開催を推進し、選手の育成と観光客の増加を図る				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】				
	実行委員会に補助しスキー大会を実施する。また、開催に必要な機材を設置する。				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	0.6 人
その他			45,675	45,150				主幹	人
一般財源	9,848	8,693	5,878	5,549				主査	1.2 人
従事職員数 B	1.8 人	1.8 人	1.8 人	1.8 人				主任	人
准職員、臨時職員	1.0 人	1.0 人	1.0 人	1.0 人				主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	スキー大会実行委員会に補助し大会を円滑に実施する。	オリンピック推進協会からの補助により何とか実施できているが、今後はスポンサーが期待できないしオリンピック推進協会も近いうちに財源がなくなるので大会実施は難しい。
成果 (目標に対する成果)	全ての大会を円滑に推進することが出来た。	スキークラブや自衛隊の協力が得られたことにより大会が円滑に実施できた。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		C	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	B		B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	C		C	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	D
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B		B	C
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1		1	1

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 スキー大会は選手の育成になり、客も宿泊するので実施する価値はある。しかしながら実施に当たっては村の負担を減らすよう受益者負担を考え観光協会等が主体となり村は支援するよう考えていけばいいと思う。また、約束事で実施が決まっている大会に関しても今後について検討していかなければならない。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>事業効果が少ないことから予算の縮小・見直しについて検討すること。また、今後の計画を含め、村負担の縮小のために大会至上主義から脱却し、スキークラブへの移管なども検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現場の協力者としての村民ボランティアなど、今後の計画を含め村負担の縮小について検討すること。競技スキーからの脱却やスノーパークを目指すことも検討されたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	白馬村スキー選手育成事業			予算費目	2 - 7 - 2 - 12
				事務事業コード	721
担当係名	スポーツ事業係長	記入者氏名	郷津成海	電話内線	431
	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (14年度)
第4次総合計画位置付項目	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築くプロジェクトの名称			
根拠法令等				始期・終期	14年度～23年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 スキー選手育成のためにジュニア育成活動を応援しスキー産業の活性化を図る				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 スキークラブコーチ日当等の一部を補助しジュニア育成活動を支援する				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	11,000	11,000	10,500	10,500	100.0	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	11,000	11,000	10,500	10,500		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	ジュニア育成を応援することにより有名選手を輩出させることによりスキー界を活性化させる	数多くの有名選手を育て、スキー大会にも実績を残しているが、まだ費用的に十分とはいえず、今後さらに減っていくことは明白である
成果 (目標に対する成果)	多数の活躍選手を輩出することができた	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B		B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4		4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>スポンサーの確保やふるさと支援金等を活用するなどし、新たな財源を確保する</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。同育成会との関係が不明確である。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>スキー産業を活性化させるにはジュニア育成は重要なことである。しかしながら基金もそこをつくなく今後は今までどおり補助することは困難となろう。何らかの方策が必要である。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>事業内容について精査すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>事業内容について精査すること。選手だけでなくコーチングスタッフの育成にも力を入れるべき。選手自身はSAJやSANの看板で世界を目指しており、白馬村SCに所属している感覚が希薄である。会費徴収については地区の不均衡を解消すること。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	住民福祉課
事業名	灯油購入費緊急助成事業			予算費目	3 - 1 - 1 -
				事務事業コード	013101
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158
第4次総合計画 位置付項目	分野	市町村計画の有無・年度 ()年度			
	基本構想				
	プロジェクトの名称				
根拠法令等	白馬村灯油購入費緊急助成金支給要綱			始期・終期	年度～年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 灯油価格の急激な高騰により大きな影響を受けている低所得の高齢者世帯等に対し、灯油購入費の一部を助成				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 75歳以上の者のみ世帯、要介護度4・5の者がいる世帯、身障手帳1・2級所持者の世帯、療育手帳A1・A2所持者世帯、精神手帳1級所持者世帯、母子・父子世帯、被保護世帯のうち村民税非課税世帯で施設等に入居している者がいる世帯は除く。 給付額 1世帯 1万円				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F		Hn年度 決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	0	0	0	0	1,560	#DIV/0!			
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	0.1 人
その他								主幹	人
一般財源			0	0	1,560			主査	人
従事職員数 B	人	人	0.1 人	0.1 人	0.1 人			主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人	人			主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	75歳以上の者のみ世帯、要介護度4・5の者がいる世帯、身障手帳1・2級所持者の世帯、療育手帳A1・A2所持者世帯、精神手帳1級所持者世帯、母子・父子世帯、被保護世帯のうち村民税非課税世帯で施設等に入居している者がいる世帯は除く。 給付額 1世帯 1万円	世帯分離して別々の世帯であるが、生活実態は同一生計である世帯が多い
成果 (目標に対する成果)	支給決定世帯 156、 否決世帯 4 申請に至らなかった世帯 72 (内訳:同居41、施設等入所24、その他4、未申告3)	緊急的な措置として取り組みができた

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り			B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化				

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>原油価格の高騰がいつまで続くのか不透明であり、国や村の方針も決定していない。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>緊急性・優先性はあるが、政治性に依存している。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望している事業であるが、政治性に依存している。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 原油価格の高騰がいつまで続くのか不透明である。19年度よりも20年度の方が原油価格が高騰している現状を見ると、20年度においても緊急助成の対策が必要と考える。各自治体での対応でなく、国としての対応を要望したい。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後の事業計画の見通しを精査したうえでの実施を検討すること。また、手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後の事業計画の見通しを精査したうえでの実施を検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	住民福祉課
事業名	雪害救助員派遣事業			予算費目	3 - 1 - 2 -
				事務事業コード	013121
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158
第4次総合計画位置付項目	分野 健康・福祉・医療			市町村計画の有無・年度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想 支えあい健康にぐらす地域福祉社会を築く プロジェクトの名称 福祉いきいきプロジェクト				
根拠法令等	雪害救助員派遣事業補助金交付要綱(県要綱)・雪害救助員派遣事業実施要領(県要領)、白馬村生活救助員派遣事業実施要綱			始期・終期	年度 ~ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 自己の資力及び労力で屋根雪下ろしができない高齢者等の世帯に対し、救助員の派遣を仲介する。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 村内に住所を有し、自己の資力及び労力で屋根雪下ろしができない、65歳以上高齢者世帯、母子世帯等で所得税非課税世帯に対し、救助員の派遣を仲介				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
国県支出金	770	7	7,701	139	/	課長補佐	人		
地方債						係長	0.1 人		
その他						主幹	人		
一般財源	798	9	798	146		主査	人		
従事職員数 B	人	人	0.1 人	0.1 人	/	主任	人		
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人		
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。					

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	23世帯の派遣申請のうち、屋根雪下ろしを必要とする、65歳以上高齢者世帯、母子世帯等で所得税非課税世帯に対し、救助員を派遣	基本的に屋根雪及び下ろした雪の片付けのみが該当で、降雪による玄関先の雪かき等は対象にならない。
成果(目標に対する成果)	実施世帯 17世帯 (内訳 高齢者世帯:16、母子世帯:1) 派遣時間 203時間	救助員の派遣により冬期間の生活確保ができた

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化				4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 昨今の暖冬では、現事業のなかで対応できるが、大雪の場合は、この事業での対応には限界があり、村独自での対応が求められる。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。また、今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	住民福祉課	
事業名	移送サービス事業			予算費目	3 - 1 - 2 -	
				事務事業コード	013123	
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158	
第4次総合計画位置付項目	分野	健康・福祉・医療			市町村計画の有無・年度	有・ <input type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想	支えあい健康にくらす地域福祉社会を築く				
根拠法令等	プロジェクトの名称	福祉いきいきプロジェクト			始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】					
	65歳以上の寝たきり老人、車椅子利用者等で一般交通機関の利用が困難な方を対象に、居宅と福祉施設・医療機関を移送用車両により送迎するサービス。					
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】					
	白馬村社会福祉協議会に事業委託をし、65歳以上の寝たきり老人、車椅子利用者等で一般交通機関の利用が困難な方を対象に、居宅と福祉施設・医療機関を移送用車両により送迎するサービス実施					

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	2,260	1,189	2,012	1,224	60.8	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他	500	454	360	620		主幹	人
一般財源	1,760	735	1,652	604		主査	人
従事職員数 B	人	人	人	人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	1から2台の車両により、月から金曜日に移送サービスを実施	今後利用者増加が予想される
成果 (目標に対する成果)	利用者 31人 送迎日数 219日 総利用時間573時間	事故なく安全に送迎することができた

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	C		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1		1	1

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>E</p>	<p>【説明】</p> <p>現在は無償による移送サービスを実施しているが、今後、福祉輸送サービスの利用の増加が見込まれるため、道路運送法の許可を得て、福祉有償輸送に切り替えていく必要があると考える。実施にあたり予算及び人員の確保が必要となる。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。今後における費用対効果について確認すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>E</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	住民福祉課	
事業名	相談支援事業			予算費目	3 - 1 - 2 -	
				事務事業コード	013123	
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158	
第4次総合計画位置付項目	分野	健康・福祉・医療			市町村計画の有無・年度	有・ <input type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想	支えあい健康にぐらす地域福祉社会を築く				
根拠法令等	プロジェクトの名称	福祉いきいきプロジェクト			始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 家族、相続、金銭貸借、法律関係などの抱える問題について無料相談室を開設					
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬村社会福祉協議会に委託し、心配ごと相談所を年8回、法律相談所を年3回開設					

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
国県支出金					83.1	課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	317	247	267	222		主査	人
従事職員数 B	人	人	人	人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	心配ごと相談所 4月、6月、7月、8月、11月、12月、1月、3月の計8回 法律相談所 5月、9月、2月の計3回	事業計画どおり相談所を開設することができた。
成果 (目標に対する成果)	心配ごと相談件数 7件 法律相談件数 15件	事業計画どおり相談所を開設することができた。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	B
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	C		C	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化				4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。心配相談8回で開催実績が7件では非効率である。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 相談は、多種多様であり、今後も秘密を厳守し相談にあたる。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 手法や手段について見直しを検討すること。経常的な業務であるが、できる限り事務の改善に努めること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。相談数が少ないため、随時電話等で受付け、必要に応じて専門家を紹介する方法も検討すること。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	住民福祉課
事業名	在宅介護支援センター運営事業			予算費目	3 - 1 - 2 -
				事務事業コード	013123
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158
第4次総合計画位置付項目	分野	健康・福祉・医療			市町村計画の有無・年度
	基本構想	支えあい健康にぐらす地域福祉社会を築く			
根拠法令等	プロジェクトの名称	福祉いきいきプロジェクト			有・無 (年度)
根拠法令等	老人福祉法、白馬村在宅介護支援センター条例、白馬村在宅介護支援センター管理運営規則			始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 在宅の寝たきり老人等の介護者に対し、在宅介護に関する相談、必要な福祉サービスが受けられるよう調整を図り、身体的、精神的な負担軽減を図る。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 在宅の寝たきり老人等の介護者に対し、在宅介護に関する相談、必要な福祉サービスが受けられるよう調整を図り、身体的、精神的な負担軽減を図るため、(社福)大北社会福祉事業協会に委託				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	7,647	7,156	7,405	6,729	90.9	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	7,647	7,156	7,405	6,729		主査	人
従事職員数 B	人	人	人	人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	高齢者の生活、家計、介護等への不安など問題解決に向け、福祉サービス等が総合的・効果的に利用できるよう総合支援を実施と独居や高齢者世帯を中心とした実態把握の実施	相談により適切なサービス提供ができています
成果 (目標に対する成果)	相談件数 4,194件 相談実人数 708人 (内訳)介護・日常生活:1,956件、サービス利用:1,070、医療関連:310、経済面:38、介護保険関連439、実態把握:381	相談により適切なサービス提供ができています

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	B		A	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	3		3	3

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>E</p>	<p>【説明】</p> <p>在宅介護支援センター運営に関しては、(社)大北社会福祉事業協会に業務委託しているが、地域包括支援センターの開設に伴い、業務内容が重複しており、今後は、地域包括支援センターの充実を図っていく必要がある。</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。手法や手段について見直しを検討すること。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1220 1518 1428 1709"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1428 1518 1500 1709"> <p>B</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要			担当課等名	住民福祉課	
事業名	福祉タクシー事業		予算費目	3 - 1 - 2 -	
			事務事業コード	013123	
担当係名	福祉係	記入者氏名	太田洋一	電話内線	158
第4次総合計画位置付項目	分野	健康・福祉・医療		市町村計画の有無・年度	有・ <input type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想	支えあい健康に誇る地域福祉社会を築く			
根拠法令等	白馬村福祉タクシー乗車券交付要綱		始期・終期	年度～ 年度	
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 家族に自動車の所有が無く、かつ高齢などの理由により自らも交通手段を持たない高齢者等に対し、タクシー料金の一部を助成				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 村内に住所を有し、自らの交通手段を確保出来ない世帯で、65歳以上の者のみ世帯、65歳以上の者と18歳未満の者のみ世帯、母子世帯、被保護世帯、身体障害者手帳・療育手帳所持者、村長が必要と認める世帯に対し、タクシー料金の一部を助成				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	6,100	4,501	6,100		4,556	74.7			
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	0.1 人
その他								主幹	人
一般財源	6,100	4,501	6,100		4,556		主査	人	
従事職員数 B	人	人	0.1 人		0.1 人		主任	人	
准職員、臨時職員	人	人	人		人		主事	人	
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	村内に住所を有し、自らの交通手段を確保出来ない世帯で、65歳以上の者のみ世帯、65歳以上の者と18歳未満の者のみ世帯、母子世帯、被保護世帯、身体障害者手帳・療育手帳所持者、村長が必要と認める世帯に対し、タクシー料金の一部を助成	1人6枚(僻地は9枚)交付しているが、人によってはありがたく利用しているという方、もう少し欲しいという方それぞれである。
成果(目標に対する成果)	利用者数 125人 利用件数 3,635件	1人6枚(僻地は10枚)交付しているが、人によってはありがたく利用しているという方、もう少し欲しいという方それぞれである。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B		B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B		B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	C		A	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C

費用削減の方法 1-受益者負担 4-適正財源確保	2-民間委託・PFI 5-簡素化・効率化	3-他事業統合連携	3	3	3
--------------------------------	-------------------------	-----------	---	---	---

担 当 課 評 価 担 合 評 価	今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)	補足説明 (必要に応じて)																		
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">費用の方向性</p>		成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し	拡充	維持
成果の方向性	拡充																			
	維持																			
	縮小																			
基本的見直し	拡充	維持	縮小	基本的見直し																
事務事業庁内評価委員会総合評価	村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。																			
事務事業評価委員会総合評価	村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。																			

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

担当課等案と説明	E	【説明】 福祉タクシー事業から乗合タクシー事業へ移行
事務事業庁内評価委員会見解	E	【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。なお、平成20年度において廃止事業。
事務事業評価委員会見解	E	【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。デマンド交通事業へ移行すること。

今後の方向性 最終方針	E
----------------	---

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

平成19年度 事務事業評価調書

No86

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要			担当課等名	住民福祉課	
事業名	南部保育園運営事業		予算費目	3 - 2 - 3 -	
			事務事業コード	13232	
担当係名	園長	記入者氏名	太田昭子	電話内線	75 - 2002
第4次総合計画位置付項目	分野	健康・福祉・医療		市町村計画の有無・年度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 (年度)
	基本構想	支えあい健康にくらす地域福祉社会を築く			
	プロジェクトの名称	福祉いきいきプロジェクト			
根拠法令等	児童福祉法		始期・終期	年度～ 年度	
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 家庭・地域社会と綿密に連携をとりながら保育に欠ける、幼児に対して家庭保育の補完を行い、入所する幼児の福祉増進を図る。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 未満児保育 3歳以上児保育 延長保育 障害児保育				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
国県支出金							/	課長補佐	人
地方債								係長	2.0 人
その他	308	537	353	551				主幹	人
一般財源	43,281	42,655	36,498	34,517				主査	2.0 人
従事職員数 B	5.0 人	5.0 人	4.0 人	4.0 人				主任	人
准職員、臨時職員	2.0 人	2.0 人	2.0 人	1.5 人			主事	人	
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	各事業を実施し家庭保育の補完、子育て支援をする。	
成果(目標に対する成果)	各事業を実施し家庭保育の補完、子育て支援ができた。	園児数の減少

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	C		A	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	3			3

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要であるが、しろま保育園へ統合済となっている。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>E</p>	<p>[説明]</p> <p>平成20年度からしろま保育園へ統合</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>D</p>	<p>[説明]</p> <p>平成19年度をもって事業終了。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>[説明]</p> <p>手法や手段について見直しを検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>E</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	県営中山間総合整備事業			予算費目	5 - 1 - 4 - 32
				事務事業コード	15141
担当係名	土地改良係	記入者氏名	酒井 洋	電話内線	143
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	土地改良法	プロジェクトの名称	元気の出る農業プロジェクト	始期・終期	10年度～19年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 農業生産基盤、生活環境基盤を整備することにより生産性及び環境整備が向上し、地域の活性化が図られる。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 農業生産基盤整備、農村生活環境基盤整備				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	29,250	10,563	6,519	5,246	80.5	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債			3,700	3,100		係長	0.2 人
その他			2,166	1,400		主幹	人
一般財源			653	746		主査	人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	県営事業への負担金 事業費の減により負担金も減	当初目標は達成、実施計画は十分な検討が必要
成果 (目標に対する成果)	当初目標は達成、	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	C	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	3	3	3

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 補完工事の対応に留まる。</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 事業が終了し効果が上がっているが、今後は補完工事が必要となる。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 現状程度で事業を継続すること。今後における費用対効果について確認すること。なお、耕作放棄は時代の必然でもあり、多角的な検討が必要である。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1204 1491 1428 1720"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1428 1491 1516 1720"> <p>C</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>C</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>C</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	森のエネルギー推進事業			予算費目	5 - 2 - 1 -
				事務事業コード	15207
担当係名	農政係	記入者氏名	横山 秋一	電話内線	143
第4次総合計画 位置付項目	分野	環境保全		市町村計画の 有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	自然と共生し誰もが安らげる環境をつくる			
	プロジェクトの名称	むらごと自然公園プロジェクト			
根拠法令等	白馬村森のエネルギー推進事業補助金交付要綱			始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 地球温暖化防止(CO2排出抑制)方策として化石燃料の消費量削減、新エネルギー導入・木質バイオマスの活用を図るため、ペレットストーブ購入に対し補助金を交付し、普及促進を目的とする。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 19年度新規事業 ・1基につき10万円補助で、10基100万円補助金交付				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
総事業費 A	0	0	1,000	100	10.0		
国県支出金			500	50		課長補佐	0.1 人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源			500	50		主査	人
従事職員数 B	人	人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	・1名に対し1基分10万円補助	問合せは数件あったものの、森林組合事業と競合し、実績は1件にとどまった。
成果 (目標に対する成果)	・計画に対し10%にとどまる	住民周知と地球温暖化防止への関心喚起が課題

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B	B	C
期待される効果は上がっているか 【有効性】	C	C	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>19年度成果に乏しく、計画費用は増やさずとも成果は上げていく。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。社会的傾向ではあるが、村民ニーズは低い。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 地球温暖化防止という世界的課題に対し、些細な取組みではあるが、村ができることとして充実させていく必要がある。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 燃料高騰から希望が多くなることが予想されることから、手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後における費用対効果について確認すること。地球温暖化防止に寄与するのに高額なストーブやペレットを購入する矛盾への解消に努められたい。また、生活防衛の一環であることから、福祉面でも検討されたい。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	国際交流事業			予算費目	6 - 1 - 1 - 11.2
				事務事業コード	16103
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 国際交流の推進				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 日中友好・交流				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	200	160	200	165	82.5	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	200	160	200	165		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	日本と中国のスキー交流、スキー訓練隊の受入、中国でのスキー振興のためのスキー用具を送る運動の実施	白馬村スキークラブ、白馬北小スキー交流等順調な交流が図られている。
成果 (目標に対する成果)	白馬村スキークラブ及び白馬村、全村を挙げてのスキー用具支援活動、またスキージャンプ訓練隊等の受入や訪中による交流	インバウンド事業としての中国人観光客の増大を図る。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	A		A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A		A	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1			4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 日中友好事業は国策事業として、今後も必要である。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 白馬村観光局が行うこととするなど、手法や手段について見直しを検討すること。また、今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。冬季オリンピックを開催した村とは思えない事業規模であることから、中国のみならず、世界各国と交流を持つべきである。また、オーストリア・レッヒ村は友好都市となっているが、地域との産業交流も行っており、交流目的を明確にして実施されたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	平地観光施設管理事業 国民保養センター岳の湯・スポーツアリーナ事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 12.2
				事務事業コード	16121
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 地域住民及び一般国民の福祉増進及び保養休養に資するため。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 施設の維持管理				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
国県支出金					99.4	課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	320	318	320	318		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	保安点検、地下タンク検査	特になし
成果 (目標に対する成果)	保安点検、地下タンク検査の実施	特になし

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	B
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	B	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>指定管理者制度を導入しているが、運用が図られていない。</p>
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、期待される効果が上がっていない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、期待される効果が上がっていない。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 指定管理者としての運用を考えるべきである。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 国民保養センター岳の湯施設(配管等)が老朽化しており、入浴施設の必要性及び経営手法について検討する必要がある。また、必要に応じて指定管理者に移行することも検討された。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。周辺に多数温泉施設がありサービスを充実させるなどの工夫が必要であるが、一方で民間の外湯も充実しており競合すべきでないとする。</p>

今後の方向性
最終方針

E

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	平地観光施設管理事業 白馬小径事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 11
				事務事業コード	16121
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 新たなる観光魅力向上				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 施設の維持管理				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	5	5	0	0	#DIV/0!	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.1 人
その他						主幹	人
一般財源	5	5	0	0		主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	維持管理	特になし
成果 (目標に対する成果)	維持管理	特になし

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4		4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">基本的見直し</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小					基本的見直し					拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
	基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 継続的な維持管理</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明] 現状程度で事業を継続することとするが手法や手段について見直しを検討すること。見所をしばったコースの検討を実施し、管理を徹底すること。千国街道や松川村の山麓トレッキングの例も参照されたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	山岳観光施設維持補修事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 11 - 19
				事務事業コード	16122
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 山岳観光施設維持管理				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 山岳建物の維持管理、登山道の維持管理、登山者への安全啓蒙等				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	750	750	1,653	1,555	94.1	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	750	750	1,653	1,555		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	山岳観光施設維持管理	
成果(目標に対する成果)	山岳観光施設維持管理の実施	民間への委託及び廃止

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用の方向性</td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充					維持					縮小					基本的見直し				費用の方向性	拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
	基本的見直し																											
費用の方向性	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性がある事業で、期待される効果も上がっている。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 民間への委託及び廃止</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現状維持とすること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。案内誘導を徹底し、登山道等の基本インフラの整備は長期的な展望に立って行うこと。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

事業名			担当課等名	観光農政課
山岳観光施設維持補修事業 白馬尻荘事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 14
			事務事業コード	16122
担当係名		記入者氏名	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目		分野 産業・観光	市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
		基本構想 優れた資源と人を活かした活力ある経済を築くプロジェクトの名称		
		アルプスの里観光プロジェクト	始期・終期	年度～ 年度
根拠法令等				
事業の目的 【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬大雪渓入り口での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画 【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬大雪渓入り口での観光案内、宿泊等サービス事業のための国有地借り上げ				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	750	750	127	102	80.3	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	750	750	127	102		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	白馬尻荘は休止となっている。	民間への委託及び廃止
成果 (目標に対する成果)	白馬尻荘は休止となっている。	民間への委託及び廃止

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	C		C	C
村民にとって必要なことか 【必要性】	C		C	C
村が行うべきことか 【妥当性】	C		C	C
期待される効果は上がっているか 【有効性】	C		C	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	C		C	C
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>民間施設との競合状況であること、財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 民間への委託及び廃止</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 現状では、平成19.20.21年度は休止であり、存続の可否の検討が必要である。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 山岳観光における宿泊施設等の経営は、益々厳しさが増すものと思われるので、民間委託をふくめ基本的見直しを図ること。段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>E</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要			担当課等名	観光農政課	
事業名	山岳観光施設維持補修事業 白馬頂上宿舎事業		予算費目	6 - 1 - 2 - 11	
			事務事業コード	16122	
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業のための雪害修繕				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	709	709	0	3,896	#DIV/0!	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他				840		主幹	人
一般財源	709	709	0	3,056		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	白馬岳頂上宿舎維持管理	民間への委託及び廃止
成果 (目標に対する成果)	白馬岳頂上宿舎維持管理	民間への委託及び廃止

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	B	B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	B	B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	B	B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B	B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	C
政治性に依存しているか 【政治性】	B	A	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	5	5	2

<p>担 当 課 評 価 合 評 価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>民間施設との競合状況であること、財政への圧迫性が大きいことから、事業の縮小・見直しが必要である。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>C</p>	<p>【説明】 宿舎の縮小必要またトイレ浄化対策必要</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 平成20年度以降の方向性については、見直しを検討すること。また、今後における費用対効果について確認すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 民間施設と競合していることから段階的に削減し、将来的には廃止を検討すること。今後における費用対効果について確認すること。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	山岳観光施設維持補修事業 白馬頂上テント場事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 14
				事務事業コード	16122
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業のための国有地借り上げ				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	45	45	45	36	80.0	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	45	45	45	36		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	白馬頂上テント場維持管理	
成果 (目標に対する成果)	白馬頂上テント場維持管理	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	B
村が行うべきことか 【妥当性】	A	B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1	1	1

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 国民のテント場での宿泊等要望があるので、今後も継続必要。環境に配慮したトイレ新設が必要</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 継続して実施すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 受益者負担の検討をすること。今後における費用対効果について確認すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

担当課等名			観光農政課		
事業名	山岳観光施設維持補修事業 天狗山荘事業		予算費目	6 - 1 - 2 - 14	
			事務事業コード	16122	
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬岳での観光案内、宿泊等サービス事業				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!		
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	人
その他								主幹	人
一般財源	0	0	0	0	0	0		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	天狗山荘維持管理	
成果 (目標に対する成果)	天狗山荘維持管理	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	B	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 近場に天狗山荘に替わる宿泊場所がないため、存続またトイレ浄化設備の検討必要</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 平成20年度以降の方向性については、見直しを検討すること。また、今後における費用対効果について確認すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	山岳観光施設維持補修事業 八方池山荘事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 11
				事務事業コード	16122
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 唐松岳入り口での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 唐松岳入り口での観光案内、宿泊等サービス事業				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	270	270	600	1,024	170.7	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	270	270	600	1,024		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	山荘維持管理	
成果 (目標に対する成果)	山荘維持管理	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>基本的見直し</td></tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 宿泊場所がないため、存続、将来的には投資必要となる。</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 平成20年度以降の方向性については、見直しを検討すること。また、今後における費用対効果について確認すること。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1204 1491 1428 1720"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1428 1491 1516 1720"> <p>B</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	山岳観光施設維持補修事業 猿倉荘事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 11
				事務事業コード	16122
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬岳入り口での観光案内、宿泊等サービス事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬岳入り口での観光案内、宿泊等サービス事業				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	200	870	200	1,247	623.5	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	1.0 人
その他				1,246		主幹	人
一般財源	200	870	200	1		主査	1.0 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	山荘維持管理	
成果 (目標に対する成果)	山荘維持管理	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	C
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 宿泊場所がないため、存続、将来的には投資必要となる。</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 平成20年度以降の方向性については、見直しを検討すること。また、今後における費用対効果について確認すること。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 今後における費用対効果について確認すること。事業内容について精査すること。白馬の登山口であり案内誘導を充実されたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1203 1491 1426 1720"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1426 1491 1516 1720"> <p>B</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

担当課等名				観光農政課	
事業名	山岳観光施設維持補修事業 八方池山荘トイレ・八方池第2ケルトイレ事業			予算費目	6 - 1 - 4 - 14
				事務事業コード	16141
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 山岳観光振興のためのトイレ維持管理				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 山岳観光振興のためのトイレ維持管理				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	1,200	1,200	1,200	1,950	162.5	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	1,200	1,200	1,200	1,950		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	国民サービスの一環としての登山環境整備	
成果 (目標に対する成果)	国民サービスの一環としての登山環境整備	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1		1

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" data-bbox="427 219 842 398"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>緊急性・優先性はあるが、政治性に依存している。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性もあり、期待される効果も上がっている。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>[説明]</p> <p>国民サービスの一環事業であるため、国の施策必要</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明]</p> <p>現状維持とすること。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>[説明]</p> <p>受益者負担の検討をすること。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1203 1491 1426 1720"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1426 1491 1516 1720"> <p>B</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	山岳観光施設維持補修事業 白馬岳避難小屋事業			予算費目	6 - 1 - 2 - 13
				事務事業コード	16122
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 登山客の安全確保				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 登山客の安全確保				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	0	0	0	263	#DIV/0!	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	0	0	0	263		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	登山客の安全確保のため建築設計委託	
成果 (目標に対する成果)	登山客の安全確保のため建築設計委託	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	B	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	A	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C	C	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>雪崩による倒壊のため、保険適用</p>
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>緊急性・優先性はあるが、政治性に依存している。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性はあるが、効果は分からない。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 国民サービスの一環事業であるため、国の補助施策の充実</p>			
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 再建築についての検討は必要であるが、避難小屋に併設が義務づけられているトイレ方式の検討が必要である。</p>			
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討することとし、現状程度で事業を継続すること。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1208 1491 1426 1720"> <p>今後の方向性 最終方針</p> </td> <td data-bbox="1426 1491 1506 1720"> <p>B</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>				

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	21観光戦略事業			予算費目	6 - 1 - 3 - 9-19
				事務事業コード	16131
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト			
根拠法令等				始期・終期	17年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬村と白馬村観光事業者が英知を結集し、白馬村の豊かな自然環境を生かしながら、多様化する観光思考に対応できる環境の整備、観光客の誘致、国際観光の推進を行うことにより、観光関連産業の振興を図り、もって地域経済の活性化に資する。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬村観光振興に関する業務・白馬村観光商品の造成・接遇対策等				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	65,100	65,600	64,277	61,449	95.6	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	1.0 人
その他						主幹	人
一般財源	65,100	65,600	64,277	61,449		主査	1.1 人
従事職員数 B	2.1 人	2.1 人	2.1 人	2.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	旅行商品の開発、特産品の開発、旅行業免許を活かした旅行商品の販売、広報・販売促進活動、広告制作物、各種団体との共同販促、各種キャンペーンへの参加、ホームページ、イベント企画実施、お客様対応	組織体制の見直し、観光局事務所の位置見直し
成果 (目標に対する成果)	夏季観光では観光客が前年比2.3%の増と花三昧イベントの定着と併せ充実した観光状況となりました。また冬季観光としては、前年対比3.8%の増と厳しいウインター観光においてもある程度の数字は残せています。またインバウンド事業においても注目を集めることができ、観光局検証・観光局長の公募とあわせ次年度への期待感が増した成果となった。	組織体制の見直し、観光局事務所の位置見直し

4. 事務事業の評価 A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	B	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	C	C

費用削減の方法 1-受益者負担 4-適正財源確保	2-民間委託・PFI 5-簡素化・効率化	3-他事業統合連携	4	4
--------------------------------	-------------------------	-----------	---	---

担当課 総合評価	今後の方向性(担当課長等が該当箇所に印) 成果の方向性 <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> 費用の方向性	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	補足説明 (必要に応じて) 観光振興対策として施策的に重要
拡充																										
維持																										
縮小																										
基本的見直し																										
	拡充	維持	縮小																							
			基本的見直し																							
事務事業庁内評価委員会総合評価	村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。																									
事務事業評価委員会総合評価	村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。村独自の手法を展開しているが、個人事業者の意見も取り入れること。																									

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

担当課等案と説明	A	【説明】 観光局事務所については、場所を基本的に見直し、村民益、観光客の利便性確保が必要また会員との情報交換等の連携が課題
事務事業庁内評価委員会見解	A	【説明】 事業内容について精査すること。また、今後における費用対効果について確認すること。
事務事業評価委員会見解	B	【説明】 今後における費用対効果の確認や、本来の目的を再確認すること。

今後の方向性 最終方針	B
----------------	---

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	海外観光客誘致事業			予算費目	6 - 1 - 3 - 19
				事務事業コード	16131
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	○・無 (18年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	19年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 増加する海外観光客のおもてなし施策として、国の補助事業の活用による受け皿整備事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 海外観光客のニーズに沿った日本文化提供拠点整備、接遇向上、村内循環シャトルナイトバスの試行と構築等19.20年の2ヵ年での実施				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	0	0	5,000	6,000	120.0	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.2 人
その他						主幹	人
一般財源	0	0	5,000	6,000		主査	人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	白馬村観光局事業として実施した観光ルネサンス事業	2ヵ年での成果をだす必要性あり。
成果(目標に対する成果)	受け皿整備として新たな観光戦略の構築	2ヵ年以降においても施策としての実施が必要

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>観光振興対策として施策的に重要</p>
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性がある事業で、期待される効果も上がっている。村独自の手法を展開しているが、個人事業者の意見も取り入れること。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】</p> <p>低迷するスキー観光を補うためにも海外観光客の誘致は必要である。(国内観光でのスキー観光客の伸びる要素ないため)</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>今後における費用対効果について確認すること。また、事業内容について精査すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。今後における費用対効果について確認すること。受け入れる側の国際感覚を養う必要があることから、早急に手を入れるべきと考える。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	海外観光客案内事業			予算費目	6 - 1 - 3 - 19
				事務事業コード	16131
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	○・無 (18年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	19年度～20年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 増加する冬季スキー海外観光客のため白馬村案内マップ、ゲレンデ案内マップを構築することで、各ゲレンデ案内の統一性の確保を図る。また外国人への案内の構築を図る。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 村内ゲレンデマップの製作、街中マップの製作負担金				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	0	0	0	5,397	#DIV/0!	職名	人数
国県支出金				4,750		課長補佐	人
地方債						係長	0.2 人
その他						主幹	人
一般財源	0	0	0	647		主査	人
従事職員数 B	0.2 人	0.2 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	村内ゲレンデマップの製作、街中マップの製作負担金	各企業の協力を頂、統一されたゲレンデ表示を可能とした。
成果(目標に対する成果)	冬季外国人案内マップとして、統一されたマップの構築が図られた。	次年度以降は各企業での製作が必要

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A	A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	A	A	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>観光振興対策として施策的に重要だが、統一性のあるゲレンデマップ構築は19.20年度事業として、継続は各索道事業者に引き継ぐものとする。街中マップについては、引き続き充実を図っていくものとする。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性がある事業で、期待される効果も上がっている。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>D</p>	<p>【説明】</p> <p>低迷するスキー観光を補うためにも海外観光客の案内は必要であるであるが、ゲレンデマップについての継続は各索道会社に引き継ぐものとし、白馬村街中マップの充実を行政として実施</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>今後における費用対効果について確認すること。また、今後の事業計画の見通しを精査したうえでの実施を検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>今後における費用対効果について確認すること。事業がより効果的となるよう予算の拡大について検討すること。マップや看板だけ作ればよいと言うものではなく、受け入れる側の国際感覚を早急に磨き、村全体で受け入れる姿勢が必要と考える。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	道の駅白馬振興事業			予算費目	6 - 1 - 5 - 7-19
				事務事業コード	16151
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 道の駅白馬施設維持管理				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 道の駅白馬施設維持管理				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
総事業費 A	2,841	2,796	2,326	2,127	91.4		
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.1 人
その他						主幹	人
一般財源	2,841	2,796	2,326	2,127		主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費	千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	道の駅振興施策として、施設の維持管理、土地の借り上げ料の支払い	
成果 (目標に対する成果)	維持管理として適正に処理されている。	土地借り上げ料の見直し

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2	2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>観光振興としての利用が必要</p>
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 指定管理者にて土地借り上げ料以外の負担に期待する。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現状維持とするが、指定管理者への移行についても検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現状程度で事業を継続すること。近隣他村の「道の駅」と比較して特色が少ないことから、見直しされたい。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	味噌漬物加工事業			予算費目	6 - 1 - 5 - 15
				事務事業コード	16152
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	19年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 観光と農業推進のため地元特産品の掘り起こしとしての事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬村で加工施設の改修、味噌漬物生産組合員による味噌漬物加工の実施				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	0	0	1,200		1,208		100.7		
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	0.1 人
その他								主幹	人
一般財源	0	0	1,200		1,208			主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人		0.1 人			主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人		人			主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	施設改修を実施することにより、有志での味噌漬物製造を促し、地域の特産品の幅を広げると共に、地域住民のやる気を促す。	
成果(目標に対する成果)	施設改修後、味噌の製造、漬物の製造、道の駅にて販売の実施	組合員組織強化、継続性

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	A	A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B	B	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>観光と農業推進</p>
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 組合の組織強化が必要</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 生産組合による受益者負担の検討をすること。また、販売ルートの構築も必要であることから検討されたい。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>E</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。生産団体の今後の事業展開及び成長性を検討されたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>E</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	観光農政課
事業名	紫米事業			予算費目	6 - 1 - 5 - 16
				事務事業コード	16152
担当係名	観光特産係	記入者氏名	田中敏明	電話内線	140
第4次総合計画位置付項目	分野	産業・観光		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	基本構想	優れた資源と人を活かした活力ある経済を築			
根拠法令等	プロジェクトの名称	アルプスの里観光プロジェクト		始期・終期	3年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 観光と農業推進のため紫米の特産化事業				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 白馬村紫米補助施策により、青鬼地区紫米生産組合による生産、白馬村公社による紫米商品の開発				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
総事業費 A	0	0	600		565		94.2		
国県支出金								課長補佐	人
地方債								係長	0.1 人
その他								主幹	人
一般財源	0	0	600		565			主査	人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人		0.1 人			主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人		人			主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。				

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	生産者の意識向上、継続支援として倉庫の原材料支援	
成果 (目標に対する成果)	原材料支援によりコンバイン倉庫の確保による利便性確保	

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A	A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A	B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A	B	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B	B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	4	4	4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本的見直し</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr><td>拡充</td><td>維持</td><td>縮小</td><td>基本的見直し</td></tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>観光と農業推進</p>
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 紫米商品のブランド化、商品販売促進活動が今後必要</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。また、今後の計画を含め、村負担の縮小について検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 現状程度で事業を継続すること。</p>

今後の方向性
最終方針 B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

1. 事務事業の概要			担当課等名	建設水道課	
事業名	除雪事業		予算費目	7 - 2 - 2 -	
			事務事業コード	17222	
担当係名	管理係	記入者氏名	柏原 泉	電話内線	134
第4次総合計画位置付項目	分野				
	基本構想	市町村計画の有無・年度			
	プロジェクトの名称	有・無 (年度)			
根拠法令等	積雪寒冷特別地域における道路交通確保に関する特別措置法		始期・終期	19年度～19年度	
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 冬期間における村道の交通を確保し、地域事業の振興と村民生活の安定を図る。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 18年度より入札を導入。神城12工区、北城26工区の合計38工区と直営路線、準直営路線の道路延長約160kmについて道路・歩道除雪、融雪剤散布、排雪・消雪作業を実施。				

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	182,601	134,448	181,591	206,212	110.0	職名	人数
国県支出金	880	646	880	1,428	/	課長補佐	1.0 人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	181,721	133,802	180,711	204,784		主査	1.0 人
従事職員数 B	2.0 人	2.0 人	2.0 人	2.0 人		主任	人
准職員、臨時職員	2.0 人	2.0 人	2.0 人	2.0 人	主事	人	
全体事業費			千円	全体計画のない事業については記入不要。			

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	大きな事故もなく当初の目的を完全履行することができた。	入札制度の採用により一定の費用削減が図れたが、本事業に入札制度が適当であるのか検証が必要であると思われる。
成果 (目標に対する成果)	達成	・当面入札は継続して様子を見たいと考える。 ・直営重機による除雪方法(村でのオペレーター雇用他)の検討により、経費削減の可能性はある。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	A		A	A
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	A
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	5			5

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性もあり、期待される効果も上がっている。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性がある事業で、期待される効果も上がっている。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 本事業は当村にとって必要不可欠な事業であり、今後も継続していかなければならない。入札制度については、当面継続して様子を見たい。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要

事業名			景観事業	担当課等名	環境課
担当係名			環境係	記入者氏名	山岸 茂幸
第4次総合計画位置付項目			分野 環境保全 基本構想 自然と共生誰もが安らげる環境をつくる プロジェクトの名称 むらごと自然公園プロジェクト	予算費目	7 - 4 - 1 -
根拠法令等			景観法、長野県景観条例、白馬村まちづくり環境色彩計画、白馬村景観形成重点地域指導基準	事務事業コード	14201
事業の目的			[対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)] ・白馬村の景観育成を推進する。	電話内線	148
事業の計画			[この事業で当初計画したことを具体的に記入] ・環境色彩計画、及び景観形成重点地域指導基準、県景観条例景観育成住民協定の協定事項等に基づき、建築物、工作物の色彩等について指導を行ない、白馬村の景観育成を推進する。 ・屋外広告物(看板)について、指導是正を行なう。	市町村計画の有無・年度	有・(無) () 年度
				始期・終期	年度 ~ 年度

2. 事務事業に要する経費

(単位:千円)

(人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	5	0	0	0	#DIV/0!	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.3 人
その他						主幹	人
一般財源	5	0	0	0		主査	0.2 人
従事職員数 B	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人		主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	・長野県景観条例(景観法第16条第1項)に基づく届出件数:建築物:88件、工作物:32件、計120件 ・屋外広告物の届出:新規1件	・県景観条例に基づく届出時に、環境色彩計画、指導基準、住民協定事項に基づき確認を行なった。 ・照会があった際、冊子を配布するとともに、指導を行なった。
成果(目標に対する成果)	・届出時、及び照会があった際、指導を行ない、村の考え方に沿った事業展開を行なってもらった。 ・屋外広告物について、指導を行なった。	・屋外広告物については、商業活動という面と景観という面とが一体とならず、設置者の理解を得ることが課題である。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか [必要性]	A	A	A
村民にとって必要なことか [必要性]	A	A	A
村が行うべきことか [妥当性]	A	A	A
期待される効果は上がっているか [有効性]	A	A	A
緊急性・優先性はあるか [優先性]	A	A	A
政治性に依存しているか [政治性]	C	B	B
今後の財政圧迫性 [圧迫性] A-無 B-それほど C-有り	B	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化			4

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" data-bbox="427 219 847 392"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務であるが、観光立村として景観に対する事業内容が乏しい。景観条例に沿うだけでなく、白馬に訪れる絵描きや写真家の声等も聞くこと。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観については、今後も色彩計画等による指導を継続する。 ・屋外広告物については、継続して指導を実施する。
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。また、手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】</p> <p>行政としての経常的な業務であり、できる限り事務の改善に努めること。白馬村独自の景観形成に努められたい。</p>

<p>今後の方向性 最終方針</p>	<p>B</p>
------------------------	----------

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会教育課
事業名	ウイング21自主公演事業			予算費目	9 - 4 - 1 - 13
				事務事業コード	19401
担当係名	ウイング21芸術文化 シリーズ実行委員会係	記入者氏名	伊藤達男	電話内線	128
				分野	教育・文化
第4次総合計画 位置付項目	基本構想	地域をみつめ自然に学び文化を育む		市町村計画の 有無・年度	有・無 (年度)
	プロジェクトの名称	郷土文化伝承プロジェクト			
根拠法令等	なし			始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 地域の芸術文化の振興とウイング21ホールの利活用のため、ホール公演の企画及び運営を行うこと。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 舞台公演「森は生きている」を開催する。				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度 当初	Hn-1年度 決算	Hn年度 当初 F	Hn年度 決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
総事業費 A	1,854	1,750	1,500	1,500	100.0	職名	人数
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	人
その他						主幹	人
一般財源	1,854	1,750	1,500	1,500		主査	0.1 人
従事職員数 B	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人		主任	人
准職員、臨時職員	0.0 人	0.0 人	0.0 人	0.0 人		主事	人
全体事業費			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動 (事業量等)	白馬ウイング21ホール友の会と企画を行い、2回の講演を実施した。 クラシックコンサート 9月9日(日) 森は生きている 12月2日(日)	ウイング21開館当初から実行委員会組織を作り、様々なジャンルの公演を行ってきている。平成19年度は、繰越金と委託料を合算し、「森は生きている」公演を開催した。
成果 (目標に対する成果)	【来場者】 クラシック:大人121人・小人45人の合計166人 森は生きている:大人163人・小人119人の合計282人	「森は生きている」の来場者の内、約130人は村外からの保育園の来場であり、村内来場者は実質150人の入場しかなかった。高い芸術性を求めると興味のある方への事業であったと感じた。万人受けする企画を行うべきと思うが、友の会との考え方の摩擦が生じてしまう。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		B	B
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B		B	C
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	C		C	C
政治性に依存しているか 【政治性】	C		C	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	B		B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	1		1	1

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	成果の方向性	拡充					維持					縮小				基本的見直し						拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
成果の方向性	拡充																											
	維持																											
	縮小																											
基本的見直し																												
	拡充	維持	縮小	基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望する事業であるが、現時点での効果は分からない。</p>																											
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、効果は分からない。</p>																											

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 ウイング21の文化ホールという村民共有財産の有効利用を今後においても行っていくことが必要である。 公演内容については、万人受けする企画のみを行っていきたいが、様々な要望に応じていく必要があり、現状では難しい。友の会との調整が必要と考える。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。事業内容について精査すること。白馬ウイング21ホール友の会と別にフォーラムを誘致するなど、白馬に合った企画や企画力を向上されたい。</p>

今後の方向性
最終方針

B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会教育課
事業名	子ども育成会事業			予算費目	9 - 4 - 1 - 19
				事務事業コード	19401
担当係名	社会教育	記入者氏名	堤則昭	電話内線	129
	分野				
第4次総合計画位置付項目	基本構想	地域をみつめ自然に学び文化を育む		市町村計画の有無・年度	有・無 (年度)
	プロジェクトの名称	地域独自教育プロジェクト			
根拠法令等				始期・終期	年度～ 年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬村各地区子ども会育成会の連絡提携を図り、もって青少年育成活動の発展に寄与することを目的とする。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

総事業費 A	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F		Hn年度決算 G		執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
								職名	人数
国県支出金							/	課長補佐	人
地方債								係長	人
その他								主幹	人
一般財源	252	252	200	200	200	200		主査	0.3 人
従事職員数 B	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	/	主任	人
准職員、臨時職員	人	人	人	人	人	人		主事	人
全体事業費	20 千円		全体計画のない事業については記入不要。						

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	子ども会安全会(保険)加入・冬の子ども会まつり開催	
成果(目標に対する成果)	未達	本旨とは異なる保険事業による予算圧迫のため、啓発事業に力を入れられない。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価 1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	B	B	B
村民にとって必要なことか 【必要性】	A	A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	B	B	B
期待される効果は上がっているか 【有効性】	B	B	B
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B	B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	C	C	C
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	A	B	B
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	3		

<p>担 当 課 等 総 合 評 価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table>	拡充				維持				縮小				基本的見直し				拡充	維持	縮小	基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	
拡充																							
維持																							
縮小																							
基本的見直し																							
拡充	維持	縮小	基本的見直し																				
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>村民にとって必要な事業で、緊急性・優先性もあり、期待される効果も上がっている。</p>																						
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>村民が要望し、緊急性・優先性もある事業であるが、期待される効果が上がっていない。ゆとり教育が崩壊した今、存在価値が希薄となっている。</p>																						

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>A</p>	<p>【説明】 現代社会における人間間調整機能の欠如は大人の介入による子どもの縦割り社会の消滅に起因するといわれている。将来の社会を人間味溢れる社会にするためには、子どもの手による主体的な縦割り社会を復活させる必要がある。元来そのための子ども会であるにもかかわらず、現状は大人の役割意識と面目躍如、そのための保険事業となってしまう。子ども会の本質を啓発するためのコーディネートが必要かと思われる。</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。経常的な業務であるが、できる限り事務の改善に努めること。</p>
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 事業内容について精査すること。手法や手段について見直しを検討すること。</p>

今後の方向性
最終方針 B

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。

1. 事務事業の概要				担当課等名	教育委員会スポーツ課
事業名	ウイング21維持管理事業			予算費目	9 - 5 - 2 -
				事務事業コード	19525
担当係名	社会体育係	記入者氏名	太田 豊	電話内線	72-8770
第4次総合計画位置付項目	分野 教育・文化			市町村計画の有無・年度	(有)・無 (19年度)
	基本構想 地域をみつめ自然に学び文化を育む				
	プロジェクトの名称 個性あふれる生涯学習プロジェクト				
根拠法令等	地方自治法第244条の2、白馬村ウイング21条例・同規則			始期・終期	18年度～22年度
事業の目的	【対象(何を・誰を)・意図(どうしたいか)】 白馬村民の文化の向上と体力の増進を図る。				
事業の計画	【この事業で当初計画したことを具体的に記入】 社会教育・社会体育の推進を図ため、ウイング21を生涯学習の拠点として事業を計画施行する。				

2. 事務事業に要する経費 (単位:千円) (人)

	Hn-1年度当初	Hn-1年度決算	Hn年度当初 F	Hn年度決算 G	執行率 G/F	従事職員 Bの内訳	
						職名	人数
総事業費 A	22,289	28,775	22,106	25,989	117.6		
国県支出金						課長補佐	人
地方債						係長	0.2 人
その他	3,445	4,057	4,390	3,837		主幹	人
一般財源	18,844	24,718	17,716	22,152		主査	人
従事職員数 B	0.5 人	0.5 人	0.2 人	0.2 人		主任	人
准職員、臨時職員	2.0 人	2.0 人	1.5 人	1.5 人		主事	人
			千円		全体計画のない事業については記入不要。		

3. 成果の検証

区分	実績	達成状況の要因、課題など
活動(事業量等)	ホールは、公共利用のほか自主公演等で、多目的室は公民館講座や教室及び自主サークル活動等で使用している。アリーナでは、体育協会加盟団体や自主サークル・クラブに係る練習・大会の他、合宿中心とする誘客・観光振興に寄与している。	営業料金に係る施設管理規則の見直しが必要。
成果(目標に対する成果)	長年の懸案であった雨漏りも、昨年度までに対策工事を実施した。 また、社会教育・体育の振興拠点施設として定着してきている。	アリーナ・多目的室の利用は高いが、ホールの利用が低い。従って、ホールの経営が図れない状況である。ホールは当村や地域の人口に比べ規模・業務体制・投入予算のいずれをとっても限界である。

4. 事務事業の評価

A-ある B-ややある C-どちらでもない D-あまりない E-ない

評価項目	課等評価	1	庁内評価委員会評価	評価委員会評価
村民が要望しているか 【必要性】	A		A	A
村民にとって必要なことか 【必要性】	A		A	A
村が行うべきことか 【妥当性】	A		A	A
期待される効果は上がっているか 【有効性】	A		A	A
緊急性・優先性はあるか 【優先性】	B		B	B
政治性に依存しているか 【政治性】	B		B	B
今後の財政圧迫性 【圧迫性】 A-無 B-それほど C-有り	C		C	C
費用削減の方法 1-受益者負担 2-民間委託・PFI 3-他事業統合連携 4-適正財源確保 5-簡素化・効率化	2		2	2

<p>担当課 総合評価</p>	<p>今後の方向性(担当課長等が該当箇所に 印)</p> <p>成果の方向性</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本的見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基本的見直し</td> </tr> </table> <p>費用の方向性</p>	拡充				維持				縮小				基本的見直し					拡充	維持	縮小				基本的見直し	<p>補足説明 (必要に応じて)</p>	<p>財政を圧迫している大きな要因となっているが、村の文化・体育振興の拠点施設として振興している施設でもある。極力工夫し管理費を削減しているが、かかるものにはかけざるを得ないといしか言いようが無い。</p>
拡充																											
維持																											
縮小																											
基本的見直し																											
	拡充	維持	縮小																								
			基本的見直し																								
<p>事務事業庁内評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務である。</p>																										
<p>事務事業評価委員会総合評価</p>	<p>行政としての経常的な業務であるが、他の公共施設との複合的な管理も検討すること。</p>																										

5. 今後の方向性 A-充実 B-継続 C-縮小 D-統合 E-基本的見直し

<p>担当課等案と説明</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 教育委員会事務局の引き上げ兼務職員1名では、曲がり角にさしかかっているとわざる得ない。指定管理者制度への移行が考えられるが、赤字施設として村の応分の負担は今後も避けられない。 低賃金臨時職員1名と体育協会嘱託職員の兼務業務では今以上の縮小は考えられない状況である。</p>	<p>今後の方向性 最終方針</p> <p>B</p>
<p>事務事業庁内評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 指定管理者への移行を含め手法や手段について見直しを検討すること。</p>	
<p>事務事業評価委員会見解</p>	<p>B</p>	<p>【説明】 手法や手段について見直しを検討すること。村外へのエコーホールの周知・販売方法、イベントの周知方法を見直すこと。ホール使用料金の適正化(他市立ホールを参照・料金体系の細分化)やエントランス内外の設置物の整然化、絵画などの配置換えやアリーナとの分離化を検討されたい。併せて村内文化活動団体への「文化振興団体」登録や、登録による減免制度等の周知も徹底されたい。</p>	

1 4. 事務事業の評価、評価項目の「課等評価」については、庁内評価委員会ではA-ある、B-それほどない、C-ない、の3段階評価で行ったが、事務事業評価委員会における意見から、5段階評価で行った。